

## 支出証拠書

(会派名・議員氏名

自民改革会議・望月香世子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	海外事情調査		
年月日	令和7年8月30日～9月5日	金額	365,100円

目的	静岡県とタイ王国との友好関係を一層促進し、経済・文化・人的交流の拡大を図ることを目的とするものである。特に、現地に進出している日本企業の取り組みや経営環境を調査し、県内企業の海外展開に資する知見を得るとともに、県内産業の強みを生かしたタイ市場への展開可能性を探る。また、現地関係機関や企業との意見交換を通じ、両地域の相互理解を深め、今後の連携強化に向けた方策を検討する。
使途	移動交通費・宿泊費
政務活動・ 県政との 関連性	タイ王国は、東南アジアにおける経済・物流・観光の要衝であり、静岡県内企業の海外展開先として有望な市場である。特に自動車部品、食品加工、観光関連産業など県の主要産業と親和性が高く、現地への販路拡大や協業の機会が期待される。また、タイから静岡県への観光誘客や留学生の受け入れは、地域経済の活性化や国際交流の推進に直結する。今回の視察で得られた情報やネットワークは、県の産業振興、観光政策、国際戦略に資するものであり、今後の施策立案や企業支援、人的交流の強化に活用できる。
<<領収書貼付枠>> 別紙 航空券・交通費・宿泊費 364,880円 振込手数料 220円	

案分の理由 全て政務活動に関わる ものである。	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	365,100円	1/1	365,100円
		100%	

**ご利用明細**  **静岡銀行**

ご利用ありがとうございます。  
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

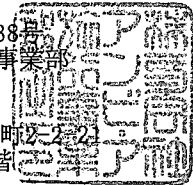
年月日	振替先店番・科目・口座番号			139
07:08:14				
銀行番号	店番号	科目	口座番号	
お取扱店		お取引内容	お取引金額	
0144		お引出し	¥364,880	
お取扱枚数		<small>(2千円) (5千円) (1万円) (5万円) (10万円) (50万円) (100万円) (500万円) (1000万円)</small> *****		
おつり	残高			
	*****			
キャッシング	手数料	時刻	お取扱い できない場合	
	¥22012290081			

お振込先明細  
 シスオカ  
 ヤイツ  
 普通 0376693  
 カ)アンビ.ア 様  
 宅チツキ カヨコ 様

06.520.38

(裏面もご覧ください)

観光庁長官登録旅行業 第638号  
株式会社アンビ・ア 旅行事業部  
本社営業所  
登録番号: T8080001014637  
〒425-0027 静岡県焼津市栄町2-2-2  
アンビ・アパークビル2階



望月 香世子 様

TEL: 054-620-7725 FAX: 054-620-7726  
総合旅行業務取扱管理者: XXXXXXXXXX

## 請求書

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
以下の通り、ご案内申し上げます。よろしくお願ひ申し上げます。

御請求内容		金額
<input type="checkbox"/> 出発日	2025年08月31日 (日) 6日間 (AZD001)	
<input type="checkbox"/> 帰着日	2025年09月05日 (金)	
<input type="checkbox"/> ツアー名	静岡県議会 タイ友好促進議員連盟	
<input type="checkbox"/> 予約No.	134299	
<input type="checkbox"/> 明細		
海外航空券代金		
羽田～バンコク往復エコノミークラス: タイ航空	( ¥140,000 X 1 )	¥140,000
国内空港使用料	( ¥2,950 X 1 )	¥2,950
国際観光旅客税	( ¥1,000 X 1 )	¥1,000
海外空港税	( ¥4,750 X 1 )	¥4,750
燃油サーチャージ	( ¥27,100 X 1 )	¥27,100
海外ホテル代金		
バンコク: S15ホテル	( ¥21,500 X 4 )	¥86,000
海外交通機関		
専用バス借上げ代: 602,000円を10名で按分	( ¥60,200 X 1 )	¥60,200
添乗員費用	( ¥31,000 X 1 )	¥31,000
JR 個札券		
清水～品川往復自由席	( ¥5,940 X 2 )	¥11,880
	【金額合計】	【内消費税額合計】
	¥364,880	¥1,348
	消費税10%対象	¥14,830 (内消費税)
	消費税対象外	¥350,050

お支払いは、以下の口座に

08月20日 までにお振込みください。

ご請求額 ¥364,880

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥364,880

振込先: 静岡銀行 焼津支店 普通: 0376693  
口座名: 株式会社アンビ・ア

担当者 XXXXXXXXXX

振込手数料は、お客様にてご負担頂きますよう、お願ひ致します。

## 県外調査概要書

令和7年9月5日

会派名・議員氏名 自民改革会議 望月香世子

目的	視察は、静岡県とタイ王国との友好関係を一層促進し、経済・文化・人的交流の拡大を図ることを目的とするものである。特に、現地に進出している日本企業の取り組みや経営環境を調査し、県内企業の海外展開に資する知見を得るとともに、県内産業の強みを生かしたタイ市場への展開可能性を探る。また、現地関係機関や企業との意見交換を通じ、両地域の相互理解を深め、今後の連携強化に向けた方策を検討する。
年月日	令和7年8月30日～令和7年9月5日
場所	タイ王国（バンコク）
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1 行程</li><li>2 応対者</li><li>3 聴取内容</li></ol> 上記1～3に関しては、別紙「静岡県議会タイ友好促進議員連盟視察報告書」を参照。 <ol style="list-style-type: none"><li>4 県政への反映</li></ol> 旅行社の方が、数十年前は訪日はタイの人にとって夢のような話であったが、現在は飛行機を飛ばせばタイから日本への訪日は大勢いるが、日本からタイへのお客様の方がなかなか見込めないということであった。タイに魅力が無いわけではなく、それだけ旅行にかかる費用が逆転しているように思った。企業を見ても、日本で人手が足りない部分をオンラインであれば設計などタイの若者が担っている姿を見て、winwinの協力関係をより一層強化していくべきと感じた。バンコク日本博において、くまもん人気は絶大で、静岡に関連するブースは残念ながら少なく、静岡にも沢山魅力があることを、静岡県としても活用すべきと考える。

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 静岡県議会 タイ友好促進議員連盟

<海外展開企業訪問と今後の海外進出の可能性に関する調査>



<信金中央金庫バンコク事務所にて>

2025年8月30日(土) ~ 9月5日(金)

タイ王国 (Kingdom of Thailand)

"ราชอาณาจักรไทย"  
ラーチャアーナーチャックタイ

**静岡県議会 タイ友好促進議員連盟**  
 <海外展開企業訪問と今後の海外進出の可能性に関する調査>

<b>ご旅行日</b>	<b>2025年8月31日(日) ~ 9月5日(金) 4泊6日 羽田空港発着タイ航空利用</b>
<b>搭乗手続き</b>	<p><b>集合: 8月30日(日) 21:45</b> 総合案内カウンター前付近 ※パスポートを忘れずにご持参下さい。添乗員が航空券をお渡します。タイ航空カウンターにて搭乗手続きを済ませ、出国審査にお進み下さい。</p> <p>タイ入国にはご自身で下記の登録が必要となりました。                  2025年5月1日よりタイデジタル到着カード (TDAC/Thailand Digital Arrival Card) が導入されました。従来使用していた紙の入国カードは廃止され、すべての外国人旅行者は空路、陸路、海路を問わずオンラインで事前登録する必要があります。                  TDAC 公式ページ⇒<a href="https://tdac.immigration.go.th/arrival-card/">https://tdac.immigration.go.th/arrival-card/</a> に入り右端にある English を押すと日本語に変わります。ただし 入力は英語となります。                  記載方法をまとめたサイトは <a href="https://tdac.in.th/ja">https://tdac.in.th/ja</a> です。ご参照下さい。</p>

予定スケジュール ※視察先等は手配中です。変更される場合があります。予めご了承をお願いいたします。

	月日	地名	現地時間	交通機関	摘要	
	8月30日(土)	集合	21:45		県内各所(自宅及び最寄り駅)→羽田空港、国際線第3ターミナル3階集合 搭乗手続き	
1	8月31日(日)	羽田発 バンコク着	00:20 04:50  午後	TG 661 専用車	タイ航空 661 便 (所要 6:30,時差 2 時間) 入国審査後係員出迎え市内へ 市内ホテルにて朝食、休憩 ●バンコク日本博 2025 視察 宿泊:バンコク市内ホテル (4 連泊)	機内
2	9月1日(月)	バンコク	10:00-11:30 13:30-16:00	専用車	●ジェトロバンコク事務所訪問 ●信金中央金庫バンコク事務所訪問 及びテストマーケティングスペース視察 宿泊:前日と同じ	朝食 × ×
3	9月2日(火)	バンコク	10:00-11:30 13:30-16:30	専用車	●株式会社 ESP 訪問 ●株式会社中村機工訪問 宿泊:前日と同じ	朝食 × ×
4	9月3日(水)	バンコク	10:00-12:00	専用車	●山崎工業株式会社訪問(ピントン工業団地) ※バンコク市内から 110km(約 90 分) サイアム高島屋見学 宿泊:前日と同じ	朝食 × ×
5	9月4日(木)		10:00-11:30	専用車	●ウェンディアジアバンコク事務所訪問 午後:帰国準備、休息 夜:空港にて搭乗手続き タイ航空 682 便 (所要 6:10,時差 2 時間)	朝食 × 機内
6	9月5日(金)	バンコク発 羽田着	22:45 06:55	TG 682	着後解散→県内各所(自宅及び最寄り駅)	

※上記時刻、スケジュールは航空会社の都合等により予告なく変更される場合があります。予めご承知おき下さい。

作成:2025年8月5日

<b>ホテル</b>	バンコク S15 スクンビットホテル S15 SUKHUMVIT HOTEL Sukhumvit 15, Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110 電話: +66-02-6512000
<b>現地旅行社</b>	WENDY ASIA (ウェンディー アジア) 緊急携帯電話 081-257-4213 または 081-825-7511 電話 02-216-2201 日本語は [ ] タイ語は [ ]

※遅くとも下記、新幹線をご利用ください。早めに羽田空港に出向いて頂けるようお願い致します。

浜松駅発 19:17 ひかり 518 号 20:35 品川着のりかえ、発 20:54 京浜急行 21:07 羽田空港第3ターミナル着  
 掛川駅発 19:38 こだま 746 号 21:11 品川着のりかえ、発 21:24 京浜急行 21:43 羽田空港第3ターミナル着  
 静岡駅発 19:41 ひかり 518 号 20:35 品川着のりかえ、発 20:54 京浜急行 21:07 羽田空港第3ターミナル着  
 新富士駅発 20:13 こだま 746 号 21:11 品川着のりかえ、発 21:24 京浜急行 21:43 羽田空港第3ターミナル着  
 三島駅発 20:27 こだま 746 号 21:11 品川着のりかえ、発 21:24 京浜急行 21:43 羽田空港第3ターミナル着

## 1. 視察概要

---

### 目的：

本視察は、静岡県とタイ王国との友好関係を一層促進し、経済・文化・人的交流の拡大を図ることを目的とするものである。特に、現地に進出している日本企業の取り組みや経営環境を調査し、県内企業の海外展開に資する知見を得るとともに、県内産業の強みを生かしたタイ市場への展開可能性を探る。また、現地関係機関や企業との意見交換を通じ、両地域の相互理解を深め、今後の連携強化に向けた方策を検討する。

**日程：**2025年8月30日(土)～9月5日(金) 4泊6日

**視察先：**●バンコク日本博 2025 ●ジエトロバンコク事務所訪問 ●信金中央金庫バンコク事務所訪問  
●信金中央テストマーケティングスペース視察 ●株式会社 EPS 訪問  
●株式会社中村機工訪問  
●山崎工業株式会社(ピントン工業団地)訪問 ●サイアム高島屋訪問  
●ウェンディアアジアバンコク事務所訪問

**参加者：**植田徹(会長)・良知淳行(幹事長)・坪内秀樹(事務局長)・鈴木啓嗣・飯田末夫  
勝俣昇・西原明美・杉本好重・小沼秀朗・望月香世子

## 2. 視察内容

### ● バンコク日本博 2025

#### ➤ 所在地

タイ王国バンコク市内クイーンシリキット国際展示場

#### ➤ 日時

開催日時 2025年8月29日～31日 10:00～20:00

訪問日時 8月31日 13:30～15:00

#### ➤ 応対者

バンコク日本博実行委員会（株式会社ジェイエデュケーション）

清水銀行バンコク駐在員事務所所長

静岡県東南アジア駐在員事務所所長 村川未帆

#### 出展者

株式会社静岡木工営業部 ・ アニメイトカフェバンコク他代表取締役

PERSONAL CONSULTANT MANPOWER(THAILAND)CO.,LTD.取締役



#### ➤ 概要

今年で第10回を迎える「NIPPON HAKU BANGKOK 2025」は2002年に始まった日本留学フェアを母体とし、2015年から食・観光・物産・アニメなど幅広い分野を統合したアジア最大級の日本総合博覧会で今年は過去最大規模となる397ブース、延べ面積11,000㎡以上の会場構成で来場者は3日間で約15万人を見込まれる。

➤ 視察内容

イベントは「留学フェア」「就職フェア」「トラベル&物産フェア」「ジャパンフードフェア」「ジャパン・ヘルス&ビューティーフェア」「アニメ・マンガ関連」「日本酒コーナー」など、多岐にわたる分野で構成されている。今回から新たに「宇宙産業」をテーマに加え、日本が世界に誇る先端産業の発信にも踏み込んだ。子どもたちのステージ発表やアーティストの出演など企画も多数で賑わっていた。世界でも日本をテーマとした展示会はよくあるが、担当者によるとこのような B to C 型は稀で、注目度の高いイベントである。

来場者の9割はタイ人、残りは日本人や外国人来場者であり幅広い世代が確認された。アンケートの結果によれば来場者の関心分野は1.観光、2.食、次いでアニメ・マンガとなっている。静岡県内企業の出店では静岡木工(神棚製品)、東レアローズ(男子バレーボール)などのブースがあったが、他県ではくまモンによるステージPRや、出展企業へのサポートがあるところも。運営者側は入場料無料、会場費の上昇などから大幅赤字だが、ビジネス拡大の場として日本を盛り上げるべく実施している。



➤ 所感評価

バンコク日本博は、日本文化・産業を総合的に発信する最大級の場であり、留学や就職、観光といった分野を通じて日本とタイの交流を深める役割を果たしている。静岡県としても、既存の企業出展に加え、観光資源や特産品の発信を強化することで、インバウンド誘致や地域ブランド向上に繋げる可能性が大きい。アジア最大級の日本総合イベントとしての意義を踏まえ、今後の県政においても積極的に活用を検討すべき取り組みである。

## ●ジェトロバンコク事務所訪問

### ➤ 所在地

127Gaysom Tower,29th Floor,  
Ratchadamri Road,Lumphini,  
Pathumwan,Bangkok 10330 Thailand

### ➤ 日時

令和7年8月30日 10:00~11:30

### ➤ 応対者

日本貿易振興機構(ジェトロ)バンコク事務所  
所長 ██████████ 次長 ██████████

### ➤ 概要

静岡県議会タイ友好促進議員連盟として、県内企業の海外展開状況と、今後の海外進出の可能性に関する現地調査を実施するため、タイ・バンコクに所在する日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所を訪問した。東南アジアの中でもタイは自動車産業、電機電子産業、食品加工業など製造業集積が進んでおり、県内の中小企業や関連産業の進出先として有望視されていることから、現地の経済環境、進出支援制度、販路開拓の実情を把握することを目的とした。

### ➤ 視察内容

#### ○現地経済概況とビジネス環境

タイは東南アジア諸国連合（ASEAN）の中核国として、GDP規模、産業インフラ、物流網、法制度面での安定性が高い。特に自動車産業は「アジアのデトロイト」と呼ばれるほどの集積を誇り、日本企業も多数進出している。近年はEV（電気自動車）や再生可能エネルギー分野、デジタル産業への投資が拡大しており、ジェトロによると今後5~10年で関連産業の裾野も広がる見込みである。

食品分野では、日本食レストランの増加や健康志向の高まりを背景に、日本産農水産物や加工食品の需要が増加傾向にある。静岡県の強みである茶、わさび、柑橘類、海産物なども十分に競争力を発揮できる市場環境であると指摘された。

## ○静岡県企業の進出状況と事例

ジェトロの説明によれば、現在タイに進出している静岡県関連企業は製造業を中心に複数存在し、自動車部品メーカー、精密加工業、食品関連企業など幅広い分野にわたっている。進出形態は現地法人設立、合併事業、販売代理店契約など多様であり、特に日系サプライチェーンとの結びつきが強い自動車部品分野では安定的な取引基盤が形成されている。

一方で、進出後の人材確保や労務管理、現地規制対応、物流コスト増などの課題もあり、事前の市場調査と現地パートナーとの信頼関係構築が成功の鍵であるとの助言があった。

## ○ジェトロによる支援内容

- ・市場調査・マッチング：業種別・製品別の需要動向調査、現地企業との商談会、展示会出展支援
- ・規制・制度情報提供：税制優遇措置（BOI 認可）、輸入規制、知的財産保護制度等の案内
- ・スタートアップ支援：タイ国内での試験販売やオンライン販路開拓の支援
- ・人的ネットワーク形成：現地自治体、経済団体、業界団体との交流機会提供

## ○今後の静岡県企業の海外展開可能性

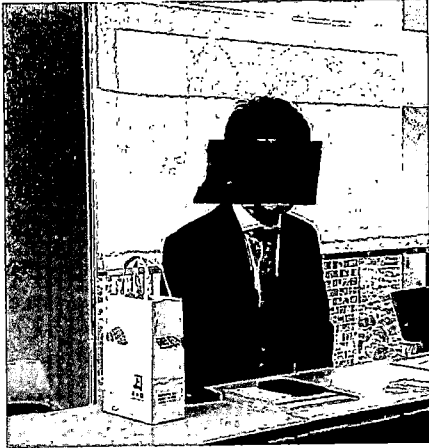
静岡県としては、既に進出している企業のフォローアップとともに、新規進出希望企業への情報提供・サポートを強化する余地がある。特に以下の分野が有望であると考えられる。

- ・観光・インバウンド連動型食品輸出：茶・わさび・柑橘・海産物のブランド化と販路拡大
- ・製造業の高度化対応：EV・ロボティクス分野への部品供給
- ・健康・美容関連製品：化粧品・サプリメントの現地販売
- ・環境・エネルギー分野：省エネ機器、再エネ関連設備の導入支援

## ➤ 所感評価

今回の訪問を通じ、タイ市場は静岡県産業にとって大きな潜在需要を有することが確認できた。特に食品・観光・製造業の三分野での展開余地が大きく、今後はジェトロや現地経済団体との連携を通じて、県内企業の販路拡大・現地拠点設立を後押しする体制づくりが求められる。

県議会としては、本調査結果をもとに、海外展開に挑戦する県内企業への支援制度や情報発信の充実、現地見本市・商談会への参加支援、さらには現地進出企業と県内企業とのネットワーク強化策を検討すべきである。



## ●信金中央金庫バンコク事務所訪問

### ➤ 所在地

信金中央金庫バンコク駐在員事務所(バンコク市内 Athenee Tower)

### ➤ 日時 令和7年9月1日 13:30～

### ➤ 対応者

信金中央金庫バンコク駐在員事務所 所 長 [REDACTED]

次席駐在員 [REDACTED]

浜松いわた信用金庫バンコク駐在員事務所 所長 [REDACTED]

### ➤ 概要

信金中央金庫バンコク事務所において、現地駐在員よりタイ経済の最新状況、日本企業の進出環境、そして信用金庫業界としての取り組みについて説明を受けたものである。併せて、現地での生活環境や日系企業の課題・展望についても具体的な情報を得た。

### ➤ 視察内容

#### ○ 駐在員の経歴と現地生活

- ・ [REDACTED] は赴任4年目。家族帯同で生活しており、タイは子育てにも適した環境と評価。
- ・ 生活費は想定以上に高いが、治安や衛生面は良好で、観光・子育てに適している。

#### ○ タイの経済状況と日系企業の立地優位性

- ・ タイは依然として日系企業の集積度が高く、政府への発言力を維持できる数少ない国の一つ。
- ・ 他国(ベトナム・インド等)でも進出は進むが、韓国・中国企業の存在感が強く、日本企業が独自に影響力を発揮できるのはタイならではの。
- ・ ただし、コロナ後の景気は低迷。特に自動車販売は落ち込み、消費者の過剰債務問題や政治的停滞も影響。

#### ○ 産業構造の変化と企業戦略

- ・ 従来の「低廉な人件費による輸出型モデル」はすでに成立しづらい。
- ・ 今後はタイを拠点とした第三国展開や、現地企業との協業による販路拡大が重要。
- ・ 自動車産業では日本車のシェアが依然 75%を占めるが、販売台数は減少傾向。
- ・ 中国 EV メーカーは一部躍進も倒産例も多く、長期的には淘汰が進む見込み。
- ・ トヨタ等はハイブリッド強化へシフト。ただし部品調達先として中国企業を採用する動きもあり、従来の系列取引は揺らぎつつある。

## ○ 新規進出・支援の方向性

- ・単なる「コスト削減目的」での進出は厳しく、支援にあたっては慎重な助言を行っている。
- ・近年は製造業だけでなく、販売・サービス業からの相談が増加。
- ・SDGs に相当する「BCG(Bio-Circular-Green Economy)」の概念が重視されており、この視点を持つ企業は進出が容易になる傾向。



## ➤ 所感評価

- ・タイは日本企業にとって依然として重要な拠点であり、政府との関係性や企業集積の強みを活かせる環境がある。
- ・一方で「安価な労働力を求めるだけの進出」は時代遅れとなりつつあり、現地市場や第三国展開を見据えた戦略的アプローチが不可欠。
- ・自動車産業をはじめとする主要分野では、中国勢や新興EVメーカーの動きが競争環境を大きく変化させており、今後も柔軟な対応が求められる。
- ・信金中金バンコク事務所は、従来の「進出支援」から「進出後の企業支援」へと軸足を移しており、きめ細かいサポートを通じて中小企業の海外展開を後押ししている点は高く評価できる。
- ・静岡県内の中小企業にとっても、販路拡大や現地パートナー連携の可能性がある一方で、安易な進出はリスクが高く、戦略的な判断が必要である。

## ● 信金中央テストマーケティングスペース視察

### ➤ 所在地

「EN-MUSUBI (縁結び)」

バンコク中心部、BTS アソーク駅複合ビル「インターチェンジ 2 1」

### ➤ 日時 令和 7 年 9 月 1 日 15:10～

### ➤ 対応者

信金中央金庫バンコク駐在員事務所 所 長 [REDACTED]

(運営会社) PERSONAL CONSULTANT MANPOWER

マネージングディレクター [REDACTED]

ゼネラルマネージャー [REDACTED]

セールス&リクルートメント [REDACTED]

### ➤ 概要および視察内容

縁結び会場は、日本各地の地域産品を集め、現地消費者やバイヤーとつなぐ商流支援スペースであるテストマーケティングスペースとして運営されている。

会場では「広島フェア」などテーマ性のある催事が定期的開催されており、販売と同時に QR コードを用いたレビュー収集システムを導入。来場者は日本語・英語・タイ語から言語を選び、簡単なアンケートに回答すると景品や割引券が受け取れる仕組みで、販売データだけでなく顧客属性や嗜好も把握可能になっている。

レビューによると、来場者は 20～40 代女性が約 8～9 割を占め、商品選定もこの層のニーズを意識している。出店事業者の中には静岡県内企業も含まれており、試食やサンプル配布による販促も積極的に行われている。特に消耗品（歯ブラシなど）は長期使用レビューを目的に数百本単位で提供する事例があった。

運営面では、スペース賃貸は現地不動産所有者からの転貸契約で、高額な賃料設定（例：一等地で 1 m<sup>2</sup>あたり月 4,000 バーツ）となる。審査の厳しい商業施設（セントラルワールド等）では日系企業の入居は難しく、本会場はアクセス性と観光立地を活かし、多様な日本商品を季節ごとに入れ替える柔軟な展示販売を実施している。冷蔵・冷凍設備も完備しており、加工食品や菓子など幅広い品目を取り扱われている。

## ➤ 所感評価

縁結び会場は、販売そのもの以上に、現地消費者の反応や評価を可視化するマーケティング拠点としての機能が特徴的である。販売好調な商品は現地バイヤーの関心を集めやすく、逆に販売が伸びない商品も改良や販路戦略見直しの貴重なデータとなっている。

タイ市場は日本産品に対して一定の価格許容度があり、高品質・限定性のある商品ほど高単価でも受け入れられる傾向が確認できた。県内企業にとっては、単なる輸出販売ではなく、現地でのブランド構築・顧客理解を並行して進めることが成功の鍵となる。

また静岡県政への活用として、以下4点をまとめる。

- 県内事業者の海外テストマーケティング拠点としての活用支援
- 販売データだけでなく顧客レビューの活用方法を企業研修等で共有
- 海外展開支援事業において、商品改良や現地適応型開発の重要性を周知
- 観光誘客や物産展など、県内外の双方向交流事業との連携強化



## ●株式会社 ESP 訪問

### ➤ 所在地

219/61-62, 18<sup>th</sup> Floor, Asoke Towers,  
Sukhumvit 21 Road  
North Khlongtoey, Wattana, Bangkok,  
Thailand 10110

### ➤ 日時

令和7年9月2日

10:00～11:30

### ➤ 応対者

株式会社 ESP 代表取締役社長 [REDACTED]

株式会社 ESP グローバル事業統括部・取締役 [REDACTED]

### ➤ 概要

2011年に [REDACTED] (浜松市出身)が起業した、日本とタイに拠点を置くエンジニアリング会社で、主に自動車・二輪メーカーや部品サプライヤーの CAD 設計業務のオフショア開発支援を行っている。10 数名でスタートした会社は現在 330 名の従業員を擁する企業へと急成長している。タイでの採用は新卒がほとんどで、日本語・ビジネスマナー等を教育しながらエンジニアとして育成し、日本のものづくりを支えている。

### ➤ 視察内容

#### ■ 企業概要・背景

- 本社は、浜松市に登記し事務機能を担い、日本側の拠点として日本橋の東京オフィス、オフショアの拠点としてバンコク・アソークに主要開発拠点を置く。
- 主要事業は、自動車・二輪を中心とした CAD 業務のエンジニアリング事業と、開発システムに導入支援を行うシステム事業である。
- 人材の採用については、2025 年実績で応募 1,700 名超のなかから大学新卒者を約 80 名採用、4 か月間の社内教育(日本語教育等)を行い若手の育成に注力する。タイでの採用の約 97%が新卒作用であり、平均年齢 26～27 歳、離職率は約 7%と平均の 20%よりかなり低い。日本にも 60 名のタイ人スタッフが勤務している。
- 近年、自社内でのエンジニア人材獲得・育成が難しくなっている日本企業にとって、海外でのパートナーを探す動きが加速し、オフショア型開発が求められる中でこの 3,4 年で取引が増加した。
- 自動車関連の主要取引先は、トヨタ、いすゞ、スバル、ヤマハ発動機など。

#### ■ 業務内容・特徴

- 人材育成に力を入れており、新卒採用後タイで 2～3 年日本語取得と CAD 業務に従事したのち、日本に転籍し 4～5 年間勤務後、再びタイに戻りタイ人リーダー(大臣化)として顧客チームを束ねる。



現在 10 名のタイ人リーダーが存在する。

- 新卒採用は、現社員の同期や先輩後輩の縦のネットワークを頼りに、確保している。
- ほどよい実力主義であり、20 代から仕事に没頭し働くことを社員に求めている。
- 社員のモチベーションを何より大事にし、日本人駐在員は置かず、現地タイ人スタッフに任せている。日本側経営陣は日本と行き来し短期出張で統括するだけ。
- 顧客の機密事項を預かる企業として絶対的な秘密主義が求められるが、セキュリティに関しては、カメラ・指紋認証等を導入。管理し、データ管理を厳格に運用をしている。自動車 OEM の基準（例：トヨタ系）に合わせた体制をとっている。
- タイと隣国との関係、コスト構造の将来変化を見据え、バングラデシュ人材の育成を先行投資として開始している。

#### ■ 現地経済・産業動向

- 日系企業の駐在員は減少傾向にあり、一部工場撤退の事例も散見される。
- 自動車の電動化においては中国製 EV の台頭など競争環境が変化しており、輸出想定（中東・アフリカ・グローバルサウス）が計画どおり伸びない局面も。勝ち筋の明暗が分かれる。
- タイは理工系人材の採用意欲が高く、日本語運用可能な若手育成が鍵となる。仕事の効率志向とワークライフバランス志向が強い。

#### ➤ 所感評価

設立より 14 年で従業員数が約 30 倍の企業に成長させ、日本とタイを結びオフショア型開発で着実に業績を積み上げ躍進する静岡・浜松発の会社であることを嬉しく思う。人口減少が益々加速する日本において、日本企業がエンジニア人材不足に直面する中、ESP の需要は益々求められるだろう。

躍進の最大の理由は、企業理念と、なにより人材育成に重点を置いていること。タイの国民性、いま時の若者の実態をそのまま受け入れており、休憩室や遊戯室の設置、監視役とも言える日本人駐在員不在も彼らの生産性を向上させ働きやすい環境を創っている。この会社の姿勢こそが今後もタイの若者に受け入れられ、結果優秀な人材の確保に繋がり、顧客のニーズに応える優良企業として成長し続けるであろう。



## ●株式会社中村機工訪問

### ➤ 所在地

294/71-77, Romkiao Property Bldg., Room 503 5<sup>th</sup> Fl. , Romkiao Rd. ,  
Klongsampraves , Lardkrabang, Bangkok 10520

### ➤ 日時

令和7年9月2日 13:30～16:30

### ➤ 対応者

中村機工 代表取締役社長 [REDACTED] 氏

川口精機株式会社 代表取締役社長 [REDACTED] 氏

エスクリエイト 代表取締役 静岡人大学学長 [REDACTED] 氏

大川原製作所 営業本部海外部部長 [REDACTED] 氏

大川原製作所 渉外部海外営業課主任 [REDACTED] 氏

### ➤ 概要

中村機工 代表取締役社長 [REDACTED] 氏は 5 社の代表を兼務。清水・島田・藤枝を基盤に、タイ・インドまで活動領域を拡張。経産省のグローバルサウス競争型補助金を獲得（数億円規模）し、「GX×DX」新事業を、川口機工／エスクリエイト／大川原製作所／中村機工の 4 社連合で推進。このグループは“ONE TEAM”の理念を掲げ、出資連携・共同ブランド・共同工場で機能統合。帰国便でも価値を持ち帰る“往復型（輸出入・人材・技術学習、イメージは「朱印船」）”を重視。

産学官連携：タイ日工業大学・日本の高専等と連携し、長期インターン／寄附講座／GX 人材育成を実施。

人材方針：後継ぎベンチャー志向、海外での小さな実験→反復で学習、頼る力の醸成。

今後：インド拠点の実稼働拡大、サイアム高島屋等との異業種連携による発信・実装を継続。

### ➤ 視察内容

○川口精機株式会社（清水）

- 事業：機械製造。自社ブランドのスクリープレス脱水機（搾汁・脱水）を展開。

- 海外展開：2018 年以降、東南アジア進出のため、中村社長と組んだ。当初は、産業廃棄物の削減の目的であったが、タイでは環境保全に関する需要が少なく苦戦。のちに“搾汁機”の需要を捉え転換。

【タイビバレッジ向けパイナップル搾汁としてのパインジュースのニーズ、その後、財閥アルコール会社ブランデー

用のパイナップル搾汁ニーズに転換で生産倍増に寄与。(1日40t級)】

- ・マレーシアのココナッツミルク：回収率40%→65%へ改善。
- ・ベトナム（マンゴー）、タイ（カットパイナップル）、味の素（コーヒーかす）、  
パーム油・医薬原料など引合い拡大。
- ・施策：タイに駐在事務所設置（2024年2月～）。

】 2週間タイ/2週間日本の往来で開拓。

- ・示唆：中小でも連携（中村機工）で機会創出可。  
水草処理等環境案件にも挑戦（補助金採択）。



#### ○エスクリエイト（静岡・清水）

- ・事業：マーケティング/ブランディング/DX支援。地域ブランド「静岡人」等を運営。
- ・役割：製造業の海外広報・販促・越境EC・DXを伴走支援し、日本側業務のサポートを担い“留守を守るDX”（遠隔でも本業が止まらない仕組み）を提供。
- ・方針：「継続こそ価値」。展示会・物産展は単発で終わらせない実装・検証サイクルを強調。
- ・連携：大手小売・百貨店・メディアとの接点活用。サイアム高島屋等での実演イベント支援の実績あり。

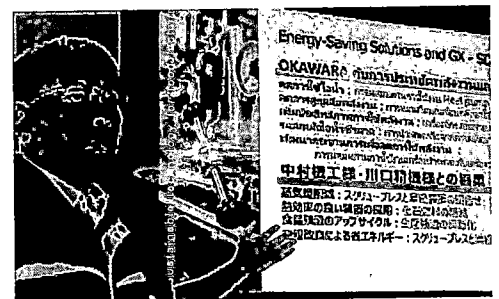
#### ○大川原製作所（吉田町）

- ・コア技術：乾燥・濃縮・造粒・殺菌。食品・化粧品・化成品・二次電池等に装置供給。
- ・海外：上海子会社のほか、2024年5月にタイ子会社を設立。
- ・生活密着の適用例：粉末スープ、ふりかけ、香辛料、化粧品原料、吸収体、二次電池部材等。
- ・GX連携：川口機工のスクリープレス×濃縮×乾燥の組合

せで、蒸気・エネルギー使用量を削減し、食品残渣のアップサイクル

（飼料・肥料・バイオマス）として生産残渣の資源化を実現。

- ・目標：タイの食品産業・環境分野でGX,SDGs実装（廃棄物3R、エネルギー削減）し、環境負荷低減を推進。



#### ○中村機工（清水/海外）

- ・機能：機械工具・自動化の商社兼エンジニアリング。設計・解析・保全・人材まで全方位支援。
- ・共同会社：清水の4社で「YN2-TECH」を設立し、設計・製作力を統合。
- ・GX/DX新事業：川口（搾汁）×大川原（濃縮・乾燥）×CO<sub>2</sub>可視化（排出量比較）×エスク

リエイト（ブランド・販路）を束ね、“食品残渣→高付加価値化”、“電力量&CO2 見える化”、GX ブランドを構築し一体提案。

- 人的基盤：大学連携（タイ日工業大・国内高専）、長期インターン多数受入。
- 拠点：タイ 2 工場（GX 新工場／自動化工場）、インド（チェンナイ等）で協業プラットフォームを構築。
- 文化：後継ぎベンチャーの実践／“頼る力”の醸成／反復実験での学習を重視。



#### ○工場視察

工場住所：1/16 TFD Industrial Estate (Motorway I Bangkok-Chonburi)

Bangpakong Chacheongsao 24130

- 本工場にて日本からの進出企業の工場を含む、各社の機械設備を生産、量産することが出来る。
- 本自動化・省力化工場：ロボット・AGV・検査自動化等、中小でも回る自動化への機械設備等を本工場にて制作。
- 安全・情報管理：製造現場の安全衛生・品質・情報セキュリティを運用。
- 工場設備としてクレーン4機（5 t、3 t、2.8 t、2.5 t）を設置。工場の高さ15 m、総敷地 7200m<sup>2</sup>、未利用の敷地は今後のニーズにて活用予定。



➤ 所感評価・県政への反映

- 中小の“連合軍方式”が奏功：製品（搾汁）×プロセス（乾燥等）×システム（CO<sub>2</sub>可視化）×販売（ブランド化）を束ね、一社では届かない規模・付加価値を実現。
- 現地自律運営×日本側統合：駐在少数でも機能する自走体制を構築し、往復で知見を日本に高い価値を付けて“持ち帰る”仕組みがある。
- 人材エコシステム：大学・高専・後継者層が集う学習コミュニティが、採用・育成・定着を後押し。
- GXは“売上”と両輪：環境負荷低減を推進し、廃棄物の価値化、エネルギー削減。コストを収益に結びつける設計。
- 継続の設計：展示会・イベントを単発で終わらせず、反復検証→実装のサイクルが組まれている。

◆参考までに静岡県政への提言となる具体策を挙げる

- 共同実証の場づくり：県内企業×中村機工グループで「食品残渣の価値化ライン（搾汁→乾燥→造粒）」の共同 PoC を実施（補助枠化）。
- 人材育成：県内高専・大と連携し、“後継ぎベンチャー×海外実習”カリキュラム（日本語・CAD・GX 基礎・安全）を常設。
- 海外拠点運営ガイド：安全衛生・品質・情報管理・CO<sub>2</sub>可視化を束ねた県版スタンダードを策定・普及。
- マーケ・広報の伴走支援：海外向け BtoB 広報／越境 EC／常設ポップアップのメニュー化（エスクリエイト等と連携）。
- 交流ハブ化：サイアム高島屋等と連携し、「静岡フェア」等の定点開催を支援（食品・工業横断）。

●山崎工業株式会社(ピントン工業団地)訪問

➤ 所在地 PINTHONG JINDUSTRIAL ESTATE 3 219/28 Moo6t. Bo  
WinA.Sriracha Chonburi 20230

➤ 日時 9月3日 10:00 ~ 12:00

対応者 代表取締役社長 XXXXXXXXXX 氏（山崎工業／山崎エレクトロニクスタイランド 兼務）

①本社・タイ拠点の会社説明 → ②工場見学（実装・挿入・最終検査） → ③質疑応答

➤ 概要

・会社概要（本社・日本）

社名：山崎工業株式会社（静岡市駿河区新川）

創業：1940年11月（85年）／資本金：1億円

売上：67億6,600万円（直近期：12月決算）

従業員：正社員140名、パート37名、技能実習生ベトナム）22名、季節要員ほか33名（合計232名・8月時点）

事業：プリント配線板（制御基板）アセンブリが主軸（家電・通信）。

一部サブアセンブリ、特販（木製品OEM、通販卸）10-15%

主取引先：三菱電機 静岡製作所（ルーム／業務用エアコン基板、比率7割強）

NECプラットフォームズ（通信端末）Cico（自動車灯火系基板）ほか

需給季節性：エアコン繁忙が4～8月。以降は反落、10月から次期立上がり。

#### ☆歴史メモ

出自は木工家具（TVキャビネット・学習机）。1984年に電子基板事業へ転換。以降、NEC系  
→2003年より三菱電機向けが拡大。



#### タイ拠点概要（視察対象）

社名：Yamazaki Electronics (Thailand) Co., Ltd.

（2012年設立・資本金1,800万バーツ／本社100%）

立地：ピントン工業団地 3（チョンブリ県シラチャ、レムチャバン港至近、スワンナプーム空港約70km）

用地・建屋：敷地約1万m<sup>2</sup>、平屋建屋3,400m<sup>2</sup>（建蔽約7割）。

拡張余地あり（後背地）

#### △主要顧客：

Mitsubishi Electric Consumer Products (Thailand)（エアコン基板：室内・室外）

Sumitronics Thailand（富士通ゼネラル向けアウトドア基板）

NEC Platforms (電話機等・スポット)、Janome (ミシン基板)、Thai Tokai (車載スイッチ基板) ほか

役割分担：日本向けは本社、タイ向けはタイ拠点で完結 (クロス補完は原則せず)

体制：日本人 4 名 (うち 2 名駐在、1 名は日泰婚・現地定住の管理職)、現地スタッフ多数

認証・環境：ISO14001 取得。静電気対策 (導電床・リストストラップ・着衣規定)・陽圧エリアで微塵管理。

#### 立地リスクと対策

洪水回避：2011 年水害を踏まえ海拔約 114m の高台・堅固地盤 (無パイル) を選定。団地内は日系多・インフラ安定。

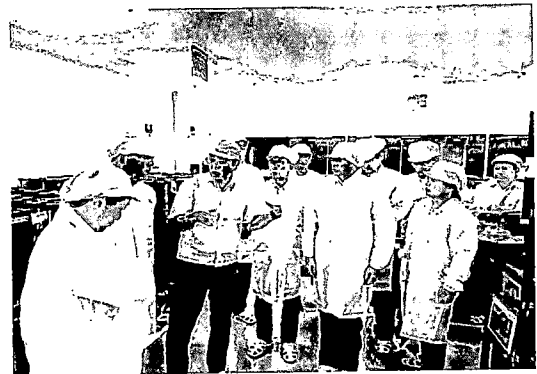
BOI 等インセンティブ：関税免除 (設備搬入時) が主恩恵。法人税免除は延長期間終了により今年度まで、その後は納税へ。

#### ➤ 視察内容

##### 生産プロセス (見学要点)

- ・ SMT 実装
- ・ 挿入 / 手搭載
- ・ はんだ・最終検査・出荷 (外観・機能検査)

※工程は静電気・粉塵管理を徹底。クリーンルーム未満だが軽陽圧化で品質維持。



#### 人材

- ・ 日本本社：人手不足が構造化。技能実習生 (ベトナム)・多国籍正社員 (タイ、ネパール、インドネシア等) を組み合わせ。
- ・ タイ拠点：採用は概ね良好 (団地内に大手が多く労働市場厚い)。定着は教育の継続が鍵。
- ・ 管理・営業は現地採用の日本語話者が中核を担う事例あり (家族・住宅も現地化)。

#### 賃金・為替

- ・ 最低賃金：出設時の 1 日 270~300B→現在 400B/日へ上昇。今後も上げ圧力。
- ・ 工業団地地価：当時 1 ライ (1,600m<sup>2</sup>) =260 万 B→現在約 1.7 倍。
- ・ 為替：設立期 1B=約 2.6 円→足元 4.5 円前後。コスト増要因として累積的に効く。
- ・ 加工費レートは日本比で優位を維持も、賃上げ・円安・地価上昇でマージン圧迫。

#### 自動化の限界と対応

- ・ 空調基板特性 (大電力・発熱部品) によりフル自動化は不可。
- ・ 設計起因の工数 (大型部品・放熱構造) →上流設計側と連携が必要。

- ・ 対応策：教育の標準化／作業平準化／部分自動化（搬送・検査）で生産性を積み上げ。

### 成果・課題の整理

- 成果
- ・ 現地完結の顧客ポートフォリオ確立（MELCO・FZ・NEC 等）。
  - ・ 品質認定・監査クリアにより量産基盤を構築（2015 年～本格伸長）。
  - ・ 立地選定の妙（高台・堅固地盤）で災害・建設コストリスクを抑制。
- 課題
- ・ 人件費・為替・地価の三重上昇による収益圧迫。
  - ・ 自動化限界（大型部品手搭載）に伴う技能依存／教育コスト。
  - ・ 法人税免除終了に伴う税負担増。
  - ・ 日本本社側の\*\*繁閑差（空調季節性）\*\*と人員確保の波。

### 静岡県政への示唆・提言

1. 上流設計×現場組立の協創支援  
県内の空調・白物家電サプライチェーンと連携し、“手搭載削減設計”共同検討会を常設（放熱・大型部品のモジュール化、治具共通化、DFMA）。成果は県内中小 EMS へ水平展開。
2. 部分自動化“導入補助の重点化  
フル自動化でなく、搬送・外観検査・トレーサビリティ等のボトルネック特化型投資を支援。  
教育自動化（作業動画 AI 指差し・標準作業ナビ）の実証も対象化。
3. 海外人材の円滑活用  
多国籍人材×日本語×製造基礎の短期ブートキャンプを県内で整備（高専・専修と連携）。  
海外拠点 OJT⇄静岡本社の往復研修に対する渡航・滞在補助の創設。
4. 災害回避・立地知見の共有  
タイ工業団地の地盤・洪水・BOI 等の実地知見データベースを県内企業へ提供（港・空港距離、地価、賃金推移、税制時限）。
5. 繁閑平準化の共同受注枠  
県内 EMS 間で繁忙期の相互バックアップを行う共同受注スキーム（品質認定の相互承認・共通検査仕様）を後押し。

### 設立時の課題と注意点

現地スタッフ教育：電子基板実装に慣れていない作業者が多く、取引企業の信用を取り付けるのに時間を要した。日タイ間のコミュニケーション：少人数の日本人スタッフで運営するため、タイ人幹部やスタッフとの意思疎通が重要

### ➤ 所感評価・県政への反映

日本品質の継承と顧客ニーズへの柔軟対応を両立するため、ヤマザキ工業株式会社は 2012 年に EMS 事業拠点としてタイに進出。EMS 市場が成熟しつつあるタイの製造基盤を活用し、高い品質を維持しながらコスト競争力も確保することを狙いとしています。さらに、現地人材の育成とコミュニケーション戦略を通じて、安定した生産体制と現地との協働関係を築いている点が特徴であった。

タイが EMS（Electronics Manufacturing Service：電子機器受託製造サービス）の拠点として「成

熟している理由としては、自動車・電機産業の集積、ASEANの生産・輸出ハブ、BOI（投資委員会）の優遇政策、人材の蓄積、日本企業との深い関係やコストと品質のバランスである。本県もモノづくり県として、人材の育成や海外との連携強化、企業集積を図る税制の優遇等、産業振興の各種施策を検討していく必要を感じた。



## ●サイアム高島屋訪問

- **所在地** Siam Takashimaya (ICONSIAM 内)  
299 Charoen Nakhon Soi 5, Charoen Nakhon Rd., Khlong Ton Sai,  
Khlong San, Bangkok 10600, Thailand
- **日時** 2025年9月3日(水) 15:00～(現地時間 / Asia-Bangkok)
- **応対者**
  - ・ [REDACTED] Managing Director, Siam Takashimaya
  - ・ [REDACTED] Executive Vice President, Siam Takashimaya
  - ・ [REDACTED] Managing Director & Japanese Confectionery Chef,

巖邑堂 (浜松市)

### ➤ 施設概要と運営体制

サイアム高島屋は、タイ資本「サイアムピアット」と日本の高島屋が共同出資し、2018年11月にオープン。商業面積は約36,000㎡、アイコンサイアム全体では約10万㎡の規模を誇る。入館者数は平日5～6万人、休日10～12万人で、顧客の約8割はタイ人、約2割が観光客、日本人は1%未満。食品売場と物産イベントを核に、BtoC型で日本文化・商品をローカライズして提供している。



### ➤ 視察内容

#### 1. 販促・イベント活用

館内イベントスペースでは、神奈川、愛知、三重、北海道など各自治体フェアを開催。食品が約8割、工芸品・民芸品が約2割を占め、観光客・地元客双方の集客効果が高い。SNS (Facebook・Instagram・LINE 等) や在タイ日本大使館、日本人会のネットワークを活用し広報。静岡県フェア実績はこれまでなく、今後の展開余地が大きい。

#### 2. テナント事例 (巖邑堂)

浜松の老舗和菓子店「巖邑堂」は店内で製造実演を行い、品質の高さと日本の季節感を伝えている。看板商品のどら焼きは、ドラえもん人気と相まって現地で定着し、特につぶあんが好評。タイの嗜好に合わせて甘味を調整するなど現地化の工夫を実施。抹茶スイーツや苺大福など、原材料調達や輸入規制対応にも取り組んでいる。

### 3. 輸出・商流

タイへの食品輸出には保健局の許可取得や成分分析など約 3~4 カ月の準備期間が必要。その後の輸送・検疫を含めるとイベント実施までに 8 カ月~1 年を要する。人気商品は物産展終了後も館内スーパーで継続販売される事例が多く、長期的販路構築が可能。

#### ➤ 所感評価

サイアム高島屋は、タイ市場における日本商品の発信拠点として確立されており、静岡県の茶、和菓子、農産加工品、工芸品等の販路拡大に有効な場である。観光誘客とも連動した県産品プロモーションやフェア開催の可能性が高く、県・事業者・現地商業施設の連携による海外展開支援策の具体化が望まれる。



## ●ウエンディアアジアバンコク事務所訪問

➤ 所在地 WENDY ASIA CO., LTD. (バンコク拠点)

128/63 Phayathai Plaza Building, 6th Floor, Room J, Phayathai Road,  
Thung Phaya Thai, Ratchathewi, Bangkok 1040

➤ 日時 2025年9月4日(木) 10:00～(現地時間 / Asia-Bangkok)

➤ 応対者 General Manager ████████ 氏

➤ 概要

・沿革：45年前(1980年9月1日)に現会長が創業。タイの旅行会社「Si (サイ)」と二体制で展開  
→コロナ期に再編し2020年 WENDY (ウエンディ) ブランドに統一(ベトナム・カンボジアは旧  
名称が一部残置)。

・拠点：タイ(バンコク・プーケット)を基点に、マレーシア/シンガポール/インドネシア/ベトナム/  
カンボジア等に展開。日本側は東京・大阪・名古屋・福岡。

・日本側体制：国内はワールドコンパス社と合併で営業(アジア送客のシナジー)。

➤ 事業領域：

Inbound (日本に来る訪日客受入) 及び Outbound (タイ発日本行の造成・手配)

航空券販売 (コミッション減少により単体収益は遞減)

教育旅行/インセンティブ実績 (例：秋田への高校生派遣 等)

プーケット：欧州(特にロシア)、中東・インド系の長期滞在が多く、物価はバンコク並みに上昇。



## ➤ 視察内容

### タイ市場・旅行動向（要点）

- FIT化が加速：団体パッケージは縮小傾向、家族・小グループの個別手配が主流。
- 訪日需要：年間約100万人規模、リピーターが約8割。行き先は関西（大阪・京都）人気が続く。
- 滞在日数：4泊5日前後が最多。ゴールデンルート一周よりスポット集中型へ。
- 関心領域：
  - 映える絶景（上高地・大室山の火口などはSNSで反響）
  - 体験性（登山を含む一部アクティビティ志向／若年～30～40代中心）
  - 温泉：抵抗感は若年層で低下傾向。ただし貸切・室内風呂付き客室の需要が強い。
  - 食：抹茶人気は根強い。わさびは嗜好差。
- 情報取得：Facebook／YouTube／KOL（インフルエンサー）の影響が大。ブログ型観光サイトも一定の到達あり。
- スポーツ系：ゴルフ・サイクリング需要はニッチ。ターゲット型商品に限り成立可。

### 静岡県に関する示唆

- 富士山＝静岡の認知は高いが、県内位置関係の理解は曖昧（山梨との混同）。
- 一体的な情報発信不足：事業者・地域単独の発信が多く、県全体での“まとめ（導線・移動・購入）”が弱い。
- アクセス不安（東京・名古屋からの移動手段・予約動線が複雑に見える）。
- 価格と体験の設計：写真映えと即時体験（茶摘み・工場見学・ギフト化）が刺さる。

### 先方からの具体提案・コメント（抜粋）

- “移動＋宿泊＋体験”のセット商品（東京・名古屋発の鉄道パス等と組み合わせ、静岡での体験を同梱）。
- KOL施策は“やってみないと当たらない”が前提。静岡は認知が高い分、「県内の新規スポット開拓」が有効。
- LGBTQフレンドリーなど明確なターゲット訴求は差別化に有効。

- 富士宮宿泊の合理性（価格・眺望）や富士スピードウェイのファミリー向け訴求など、穴場的価値も紹介可能。
- 空路連携は前向きに協力可（他社とも繋がられる）が、日本発座席の販売戦略が成否を分ける。

➤ 所感評価

WENDYは東南アジアと日本の両方に拠点とネットワークを持ち、旅行商品の企画から販売、PRまで一貫して行える強みがある。タイの旅行者は、団体旅行よりも短期間の個人旅行や家族旅行が主流で、SNS映える景色や体験を重視する傾向が強い。静岡は「富士山」での知名度は高いが、現地から見ると移動方法や宿泊、体験をセットにした分かりやすい旅行商品が少ない。同社はインフルエンサー活用や訪日商品の経験が豊富で、県としては富士山・お茶・温泉・工場見学などを組み合わせた体験型コースや、多言語対応の案内づくりを一緒に進めるべきだと感じた。チャーター便はタイ発の集客は見込めるが、日本発の座席確保が課題であり、企業視察や教育旅行、合宿など団体利用を組み合わせる工夫が必要である。短期的にはインフルエンサー招致とモデルコース販売で効果を測定し、中期的にはチャーター便実現に向けて段階的に取り組むのが現実的で有効と考える。









● バンコク日本博 2025

<p><b>NIPPON HAKU BANGKOK 2025</b> 2025年3月29日(土)30日(日)31日(月) クイーンシリキット国際展示場</p> <p>Chairman</p> <p>バンコク日本博実行委員会 株式会社ジェイ・エグゼクティブ</p> <p>株式会社 静岡本工 〒421-0501 静岡県静岡市清水区山崎町3272-1 Tel.0544-37-4130 Fax 0544-37-7872</p>	<p><b>パワース Co., Ltd.</b> GACPTERPRBLK0027</p> <p>有限会社パワース</p> <p>〒1949-6212 新潟県魚沼市湯沢町三田573-1</p>
<p>静岡県東南アジア駐在員事務所</p> <p>所長 <b>Miho Murakawa</b> Chief Representative</p> <p>Shizuoka Prefectural Government of Japan, Singapore Branch Office</p> <p>12 Eu Tong Sen Street #04-103 The Central S@HD 1 Singapore 059019</p>	<p>清水銀行 バンコク駐在員事務所</p> <p>THE SHIMIZU BANK, LTD. Bangkok Representative Office 13<sup>th</sup> Floor, Ramalend building, no.952 Rama IV road, Khwaeng Suriyawongse, Khet Bangrak, Bangkok 10040</p>
<p>持続可能な多文化共生社会に貢献する国際高等学校 学校法人中野学園 <b>オイスカ浜松国際高等学校</b> 専門学校オイスカ・アグリ・カレッジ</p> <p>事務主任 日本語学科長</p> <p>〒431-1116 静岡県浜松市中区新地町5835番地 TEL(053)486-3011 FAX(053)486-0021</p>	





● ジェトロバンコク事務所訪問

<p>日本貿易振興機構（ジェトロ） バンコク事務所長</p> <p>QRコード</p>	<p>日本貿易振興機構（ジェトロ） バンコク事務所 次長</p> <p>QRコード</p>
---	---





●信金中央金庫バンコク事務所訪問

 <p>信金中央金庫</p> <p>バンコク駐在員事務所</p> <p>19th Floor, 1903, Athenee Tower, 63 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand</p>	 <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>  <p>信金中央金庫</p> <p>バンコク駐在員事務所</p> <p>19th Floor, 1903, Athenee Tower, 63 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand</p>
 <p>浜松いわた信用金庫</p> <p>バンコク駐在員事務所</p> <p>所長</p> <p>19th Floor, 1901, Athenee Tower, 63 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok, 10330, Thailand TEL +66-(0)2-168-8303 FAX +66-(0)2-168-8305</p>	 <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> 



●信金中央テストマーケティングスペース視察


 <p>信金中央金庫</p> <p>バンコク駐在員事務所</p> <p>19th Floor, 1903, Athenee Tower, 63 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand</p>	 <p>PERSONNEL CONSULTANT</p> <p>Mobile: 081-813-6550 E-mail: odahara@personnelconsultant.co.th</p> <p>PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER (THAILAND) CO., LTD. 1st Fl. Pongkavorn 110 Bldg. 399 Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, BKK 10110 (Head Office) Tel: 02-66-2105-1714/256</p>
 <p>PERSONNEL CONSULTANT</p> <p>General Manager</p> <p>Mobile: 081-890-7011 E-mail: tei@personnelconsultant.co.th</p> <p>PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER (THAILAND) CO., LTD. 1st Fl. Pongkavorn 110 Bldg. 399 Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, BKK 10110 (Head Office) Tel: 02-66-2105-1714/256</p>	 <p>PERSONNEL CONSULTANT</p> <p>Recruitment Advisor Sales &amp; Recruitment Department</p> <p>Mobile: 081-879-3355 E-mail: yokota@personnelconsultant.co.th</p> <p>PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER (THAILAND) CO., LTD. 1st Fl. Pongkavorn 110 Bldg. 399 Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, BKK 10110 (Head Office) Tel: 02-66-2105-1714/256</p>

●株式会社 EPS 訪問


 <p>Engineering Service Provider</p>  <p>代表取締役</p> <p>株式会社 EPS / ESP Co., Ltd.          本社 (Head office)          〒433-8105 静岡県浜松市三方原町794-2          TEL: (+81)53-525-4336 FAX: (+81)53-420-9211          東京オフィス (Tokyo office)</p>	 <p>Engineering Service Provider</p>  <p>代表取締役 グローバル事業統括部</p> <p>本社 (Head office)          株式会社 EPS / ESP Co., Ltd.          〒433-8105 静岡県浜松市三方原町794-2          TEL: (+81)53-525-6336 FAX: (+81)53-420-9211          東京オフィス (Tokyo office)</p>
---	--

●株式会社 中村機工 訪問

 <p>株式会社 中村機工 NAKAMURA KIKO</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>〒424-0852 静岡県静岡市清水区神宮町 10-12          MOBILE: [Redacted]          PHONE: [Redacted]          E-MAIL: [Redacted] <a href="http://www.nk-kiko.co.jp">www.nk-kiko.co.jp</a></p>	 <p>KAWAGUCHI SEIKI Screw / Pin</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>山口県美濃株式会社          〒424-0037 静岡県静岡市清水区神宮町 902 番地          MOBILE: [Redacted]          PHONE: [Redacted]          E-MAIL: [Redacted] <a href="http://www.kawaguchiseiki.co.jp">www.kawaguchiseiki.co.jp</a></p>
--	--






My favorite "Shizuoka-Ban" やらざらおおお!





代表取締役  
静岡入大寺 孝典

株式会社 エスグリエイト  
 〒424-0806 静岡県静岡市清水区辻辻 1-7-9  
 TEL: 054-561-2311  
 Mobile: [Redacted]  
 E-Mail: [Redacted]



 <p>OKAWARA 定業技術で明日を拓く</p> <p>営業本課 海外部 部長</p> <p>株式会社 大川原製作所          本社          〒421-0304 静岡県静岡市清水区吉田町神戸1235          TEL: 0548-32-3212          FAX: 0548-32-9844          Mobile: [Redacted]          E-Mail: [Redacted]  <a href="https://www.okawara.co.jp/">https://www.okawara.co.jp/</a></p>	 <p>OKAWARA 定業技術で明日を拓く</p> <p>海外課 海外営業課 主任</p> <p>株式会社 大川原製作所          本社          〒421-0304 静岡県静岡市清水区吉田町神戸1235          TEL: 0548-32-3212          FAX: 0548-32-9844          Mobile: [Redacted]          E-Mail: [Redacted]  <a href="https://www.okawara.co.jp/">https://www.okawara.co.jp/</a></p>
--	---


●山崎工業株式会社(ピントン工業団地)訪問

 <p><b>山崎工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長</p> <p>[Redacted Name]</p>	 <p>บริษัท ยามาซากิ อิเล็กทรอนิกส์ (ไทยแลนด์) จำกัด YAMAZAKI ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.</p> <p>[Redacted Name]</p> <p>President</p>
<p>〒422-8064 静岡県浜松市東区新川1丁目7番9号 電話 054-285-3221(6) FAX 054-285-3227 E-mail: [Redacted] URL: http://www.y-ind.co.jp/</p>	<p>Head Office : TAX ID: 0205556025317 PINTONG INDUSTRIAL ESTATE 3 219/28 Moo 8 T.Ba. Win A.Srinachia Chanturi 20230 Tel. 038-110123-7 Fax: 038-110128 Mobile: [Redacted]</p>

●サイアム高島屋訪問

<p><b>SIAM Takashimaya</b></p> <p>[Redacted Name]</p> <p>Managing Director</p> <p>Tel: [Redacted] Email: [Redacted] Web: www.siamtakashimaya.co.th</p> <p><small>Siam Takashimaya (Thailand) Co., Ltd. (Head Office) TAX ID: 0103556034690 271/221/24/24 Moo 22/25 2nd Floor, Charoen Nakhon Road, Khlong Ton Sai, Bangkok 10600</small></p>	<p><b>SIAM Takashimaya</b></p> <p>[Redacted Name]</p> <p>Executive Vice President</p> <p>Tel: +662 011 7500 ext. 5582 Mobile: [Redacted] Email: [Redacted] Web: www.siamtakashimaya.com</p> <p><small>Siam Takashimaya (Thailand) Co., Ltd. (Head Office) TAX ID: 0103556034690 271/221/24/24 Moo 22/25 2nd Floor, Charoen Nakhon Road, Khlong Ton Sai, Bangkok 10600</small></p>
<p>[Redacted Name]</p> <p>MD &amp; Japanese Confectionery Chef</p> <p>[Redacted Name]</p> <p><b>SHOP</b> Siam Takashimaya UC floor 200 Charoen Nakhon Rd. Khlong Ton Sai Bangkok 10600</p>	

●ウェンディアアジアバンコク事務所訪問

 <p><b>WENDY TOUR</b> World Companies Group</p> <p>[Redacted Name]</p>	<p>General Manager</p> <p>Wendy Asia Co., Ltd. 178/11 Phrayathit Plaza Building 6th Floor, Room 4 Phrayathit Road Tung Phrayathit Ratchathani Bangkok 10400 Thailand</p> <p>TEL: +66-2-275 2201 Mobile: [Redacted] E-mail: [Redacted]</p> <p>http://www.wendytour.com/</p>
---	--

## 支出証拠書

(会派名・議員氏名

自民改革会議・望月香世子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	全国みかん生産県議会議員対策協議会 現地視察		
年月日	令和7年8月26日～8月27日	金額	69,700円

目的	全国みかん生産県議会議員対策協議会の一員として、みかん生産現場の最新動向と課題を共有するとともに、静岡県のカキ産業振興施策への反映を目的に視察を実施した。
使途	移動交通費・宿泊費
政務活動・ 県政との 関連性	本視察を通じ、愛媛県における温暖化・災害リスクの高まりに対応した園地管理技術の確立、災害復旧支援体制の迅速化、直販・加工による高付加価値化の取組を確認した。静岡県においても、傾斜地園地の作業効率化設備の普及、気象変動に対応した品種転換・栽培管理技術の研究支援、災害時の復旧支援制度の迅速運用、直売・加工品開発支援による販路拡大など県施策への積極的な反映が求められる。
<<領収書貼付枠>> 別紙のとおり ① 航空券代 68,400 - (12,650+23,550) 32,200円 (静岡～松山往路・復路キャンセル) ② 振込手数料 440円 ③ 静岡空港駐車場料金 1,000円 ④ 現地タクシー移動 (松山空港～愛媛県庁) 2,830円 ⑤ 復路 JR松山駅～JR岡山駅 4,400+2,750 7,150円 ⑥ JR岡山駅～JR掛川駅 13,980円 ⑦ 宿泊 12,250-150入湯税を除く 12,100円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動に関わる ものである。	69,700円	1/1	69,700円
		100%	

望月 香世子 様

東武トップツアーズ株式会社  
登録番号 T401320100402  
静岡支店  
〒420-0859  
静岡市葵区栄町3-1  
あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10階  
TEL: 05090019697 FAX: 054-252-9509  
担当者 3410  
発行者 3410  
請求書番号  
ログインコード

請求書 (INVOICE)

毎度格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
下記の通りご請求申し上げます。  
全国みかん生産県議会議員対策協議会 現地視察  
2025年 8月 26日 ご出発

お支払期限  
2025年 8月 25日

代金合計	消費税区分による代金内訳		お預かり金	差引ご請求金額
¥68,400	課税8%	¥0 内税額	¥0	¥68,400
内消費税合計	課税10%	¥68,400 内税額	¥0	
	8%(軽減)	¥0 内税額		
¥6,218	不課税	¥0		
	免税	¥0 非課税	¥0	

代金内訳

摘要	金額(円)	税区分	ご利用日
航空券代(静岡~福岡)	19,550	課税10	2025/08/26
航空券代(福岡~松山)	12,650	課税10	2025/08/26
航空券代(松山~福岡)	12,650	課税10	2025/08/27
航空券代(福岡~静岡)	X (23,550)	課税10	2025/08/27
*** 合計 ***	68,400		

\*お振込みの場合は下記の口座にお振込み下さい。  
 みずほ銀行 東武支店 当座 7835183 東武トップツアーズ株式会社

※お振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。 ※お振込金受取書をもって当社の領収証に代えさせていただきます。

クレジットでご精算される場合、URLまたは二次元バーコードより決済サイトに接続してください。

URL: <https://lobutoptours.jp-pay.jp/>

尚、クレジットカードでの精算は、本請求書の発行の翌日から決済が可能となりますので、予めご了承下さい。





④ 2-8-2-2

e5489領収書

ESD8644D2508262138552

表示日：2025年9月9日

宛名	望月香世子 様
利用金額計	¥2,750- (消費税等込み) 税10%
お支払方法	クレジットカード扱い [REDACTED]
但し	JR乗車券類
予約番号	46826
購入日	2025年8月26日
備考	

登録番号：T1120001059675

きっぷの明細

乗車日	ご利用人数	ご利用区間	
		特急券	列車：特急しおかぜ14号 区間：松山 - 岡山
2025年8月27日	おとな1人	特急券	列車：特急しおかぜ14号 区間：松山 - 岡山

 西日本旅客鉄道株式会社

本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。



ご利用明細書  
Description

② 2-8-2-2

オールドイングランド

道後山の手ホテル

登録番号: T2500001013469  
道後山の手ホテル  
〒790-0836 愛媛県松山市道後鷺谷町1-13  
TEL (089)998-2111 FAX (089)998-2112  
愛媛県松山市道後鷺谷町1-13  
Tel 089-998-2111  
Fax 089-998-2112  
Email welcome@dogo-yamanote.com  
URL https://www.dogo-yamanote.com

お名前 望月 香世子 様  
Guest Name

お部屋  
Room

No.	ご利用日 Date	摘要 / 項目 Reference	単価 Price	消費税 Tax	数量 Qty	ご利用金額 Charge	お預り金額 Credit
1	2025/08/26	一泊朝食	¥12,100	10%	1	¥12,100	
2	2025/08/26	入湯税	¥150	0%	1	¥150	

各ご利用項目の料金には消費税が含まれております。  
宿泊税等が加算される場合には別途記載をいたしております。

注)※は軽減税率(8%)対象商品

ご請求金額 Balance Due ¥12,250

(10%)対象	¥11,000	消費税	¥1,100
(0%)対象	¥150	消費税	¥0
合計(税抜)	¥11,150	消費税	¥1,100
ご利用金額(税込)	Total Charge*Tax included		¥12,250

発行 日付 2025年08月26日 No. 20250826-122576

Signature

領収証 Receipt

日付 2025年08月26日 No. 20250826-122576

ご芳名 望月 香世子 様  
Guest Name

金額: (10%)対象 ¥11,000  
(0%)対象 ¥150  
合計(税抜) ¥11,150

内税: (10%)対象 ¥1,100  
消費税合計 ¥1,100

ご利用金額(税込): ¥12,250 但し 宿泊代

上記金額を正に領収いたしました(消費税を含みます)

登録番号: T2500001013469  
道後山の手ホテル  
〒790-0836  
愛媛県松山市道後鷺谷町1-13  
Tel 089-998-2111  
Fax 089-998-2112  
Email welcome@dogo-yamanote.com  
URL https://www.dogo-yamanote.com

## 県外調査概要書

令和7年8月27日

会派名・議員氏名 自民改革会議 望月香世子

目的	全国みかん生産県議会議員対策協議会の一員として、みかん生産現場の最新動向と課題を共有するとともに、静岡県のカキ産業振興施策への反映を目的に現地視察(研修会)を実施した。
年月日	令和7年8月26日～8月27日
場所	愛媛県 宇和島市・松山市
内容	<p>1 行程</p> <p>8月26日</p> <p>各地＝静岡空港＝福岡空港＝松山空港＝愛媛県議会議事堂玄関ロビー13:45 集合</p> <p>バス移動 視察地①15:30-16:10 愛媛県農林水産研究所／果樹研究センター／みかん研究所 視察地②16:20-16:30 果樹園地</p> <p>バス移動 意見交換会 18:45-20:45 宿泊</p> <p>8月27日</p> <p>バス移動 視察地③9:20-10:20 JA えひめ中央</p> <p>松山駅＝岡山駅＝掛川駅＝静岡空港＝各地</p> <p>2 応対者</p> <p>視察地① 愛媛県南予地方局 大崎陳洋局長 愛媛県農林水産部農業振興局 真木健司局長 愛媛県南予地方局農林水産振興部 宮田正孝部長</p> <p>② 愛媛県農林水産研究所果樹研究センター みかん研究所 [REDACTED]</p> <p>③ えひめ中央農業協同組合 [REDACTED] 同 [REDACTED]直販部長、同 [REDACTED]経営支援課長</p> <p>3 聴取内容</p> <p>視察地①みかん研究所(宇和島市) ②果樹園地と被災園地(宇和島市)</p> <p>・愛媛県における柑橘農業の現状と研究成果について、新品種「紅プリンセス」の開発経緯(令和4年品種登録、令和6年から出荷開始)と普及方針について、スマー</p>

ト農業実証（気象・土壌データの収集、かん水・防除の遠隔操作）の導入状況や新技術による早期成園化・安定収量の取り組みなどの説明を受けた。

- ・西日本豪雨災害後の園地復旧の3方式として現状復旧・改良復旧・再編復旧の特徴と進捗状況について説明を受け、被災園地の復旧現場を視察し緩傾斜化・区画整理・農道整備などによる再編復旧の実態を確認した。
- ・災害に強く生産性の高い園地づくりに向けた試験研究の成果についてモデル園地での防災工事（排水路整備・水食防止工）、スプリンクラーやモノレールの導入による作業幅軽減の効果など説明を受けた。
- ・日焼け症を軽減させる技術（炭酸カルシウム剤散布）についての質疑応答があった。

視察地③JA えひめ中央産直市「太陽市」複合施設「みなとまちまってる」（松山市）

- ・「太陽市（おひさまいち）」「みなとまちまってる」は地元生産者が直接販売する直売施設で生鮮みかんのみならず加工品や多品種果実との組み合わせによる販売戦略が展開され、両施設を通じ地産地消の推進・農業者の販売力強化・観光との連携による地域振興など消費者との直接対話を通じた品質向上やリピーター確保の取り組みがあった。
- ・新規就農研修センター（併設研修圃場）での担い手育成体制（年間1200時間研修、栽培・経営・機械研修）について説明を受けた。JA えひめ中央おひさま保育園について質疑があり、まだまだ希望される方がいるものの拡大が難しいとのことであった。

#### 4 県政への反映

清水の園地は急傾斜が多いと思っていたが、他県と比較し特殊なものではなく、むしろ愛媛の方が傾斜が高く複雑に入り組んだ海岸線で糖度が高くおいしいみかんを作ってきたということを学んだ、しかしながら同様に新規就農者を増やすためにも園地再編・整備や生産性の向上、環境変動への対応など同様の課題と解決に向けての施策を共有することができた。各々の強みを生かしながら切磋琢磨し、柑橘生産を向上させることに活かしたい。

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

















支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・望月香世子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <b>事務費</b> ・事務所費・人件費		
内容	事務所電話代   6月請求分		
年月日	令和7年7月10日	金額	5,140円

目的	政務活動を行うための事務所維持
使途	事務所電話代
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>>  $12,700 \text{円} - (1,200 \text{円} + 1,000 \text{円}) \times 1.1 = 10,280 \text{円}$ 4   07-07-19   200   *12,700 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動・後援会活動で 按分するため	10,280円	1/2	5,140円
		%	

2-8-8-11

**請求内訳** (お客様番号 XXXXXXXXXX)

内訳項目 CHARGE BREAKDOWN BY CATEGORY (YEN)	金額(円) AMOUNT (YEN)	請求内訳等詳細 DETAILS OF CHARGE BREAKDOWN	税区分 TAX
<b>054-364-3471</b>			
◇NTT西日本ご利用分			
11,490	5,400	フレッツ 光ネクスト E 単利用料	5月 1日～ 5月31日 合算
	1,300	ひかり電話オフィスタイプ (基本料)	5月 1日～ 5月31日 合算
	1,000	ひかり電話対応機器使用料	5月 1日～ 5月31日 合算
	X 1,200	ナンバーディスプレイ使用料	5月 1日～ 5月31日 合算
	X 1,000	ボイスワープ使用料	5月 1日～ 5月31日 合算
	100	追加番号使用料	5月 1日～ 5月31日 合算
	232	ひかり電話 (通話料)	5月 1日～ 5月31日 合算
	208	ひかり電話 (携帯電話等への通話料)	5月 1日～ 5月31日 合算
	6	ユニバーサルサービス料他	5月 1日～ 5月31日 2番号分 合算
			のご請求となります。
			合算表示の料金合計×10%
	1,044	消費税等相当額 (合計)	
◇NTT西日本分 (小計)	11,490	(小計)	
◇NTTファイナンスご利用分	1,210	OCN光withフレッツ利用料等 * 契約番号 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	非対象等
		NTTコム (回収代行) ご利用分。	
◇合計	12,700	合計	
		<p>&lt;NTTファイナンスからのお知らせ&gt;            ○上記*印はサービス提供者に代わって、ご請求させていただきます。</p>	

<p>ユニバーサルサービス料他には、2025年4月利用料分から2026年3月利用料分まで、ユニバーサルサービス料に加え、電話リレーサービス料として1番号あたり1.1円 (税込) が含まれています。電話リレーサービス料については一般社団法人電気通信事業者協会のホームページをご確認下さい。  <a href="https://www.tca.or.jp/telephonerelay_service_support/qa/">https://www.tca.or.jp/telephonerelay_service_support/qa/</a></p>	<p>***ユニバーサルサービス料について***            ユニバーサルサービス料は、あまねく日本全国においてユニバーサルサービス (NTT東西の加入電話等) の提供を確保するためにご負担いただく料金です。なお、一般社団法人電気通信事業者協会から1番号あたりの費用 (番号単価) が公表されています。</p>
--	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・望月香世子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <b>事務費</b> ・事務所費・人件費		
内容	事務所電話代   7月請求分		
年月日	令和7年8月12日	金額	4,964円

目的	政務活動を行うための事務所維持
用途	事務所電話代
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>>  $  12,348 \text{円} - (1,200 \text{円} + 1,000 \text{円}) \times 1.1 = 9,928 \text{円}$ $  13   07-08-12   200   *12,348 \text{円}  $	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動・後援会活動で 按分するため	9,928円	1/2	4,964円
		%	

内訳項目 金額(円) CHARGE BREAKDOWN BY CATEGORY (YEN)	内訳金額(円) AMOUNT (YEN)	請求内訳等詳細 DETAILS OF CHARGE BREAKDOWN	税区分 TAX
◆054-364-3471			
◇N.T.T.西日本ご利用分			
11,138	5,400	フレッツ 光ネクスト・F 単利用料 6月 1日～ 6月30日	合 算
	1,300	ひかり電話サービス基本料(基本料) 6月 1日～ 6月30日	合 算
	1,000	ひかり電話対応機器使用料 6月 1日～ 6月30日	合 算
	X 1,200	ボイスサービス基本料使用料 6月 1日～ 6月30日	合 算
	X 1,000	ボイスワープ使用料 6月 1日～ 6月30日	合 算
	100	追加番号使用料 6月 1日～ 6月30日	合 算
	120	ひかり電話(通話料) 6月 1日～ 6月30日	合 算
	6	ユニバーサルサービス料他 6月 1日～ 6月30日 2ヶ月分	合 算
		のご請求となります。	
	1,012	消費税等相当額(合計) 合算表示の料金合計×1.0%	
◇N.T.T.西日本分(小計)			
11,138	11,138	(小計)	
◇N.T.T.ファイナンスご利用分			
1,210	1,210	OCN光withフレッツ利用料等 * 契約番号 [REDACTED] ドコモビジネス(旧N.T.T.コム)ご利用分	非対象等
◇合計			
12,348	12,348	合計	
		<N.T.T.ファイナンスからのお知らせ> ◎上記+印はサービス提供者に代わって、ご請求させていただきます。	

## 支出証拠書

(会派名・議員氏名

自民改革会議・望月香世子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	長崎洋上風力発電事業現地視察		
年月日	令和7年5月27日～5月29日	金額	147,870円

目的	北九州市のエコタウン事業、五島列島の浮体式洋上風力発電事業の現地視察
使途	移動交通費・宿泊費
政務活動・ 県政との 関連性	現地視察で状況を確認するとともに関係者の話をお聞きすることで、静岡県における環境と経済、エネルギー施策について検討する。
<<領収書貼付枠>> 別紙のとおり 移動費・宿泊費・視察料 126,570円 移動費 20,860円 振込手数料 440円	

案分の理由 全て政務活動に関わる ものである。	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	147,870円	1/1 100%	147,870円

**しみずキャッシュサービスご利用明細票**

いつも清水銀行をご利用いただきありがとうございます。

お取扱日		取扱店	機番	取扱番号
07-05-30		0270	107	004201
銀行番号	支店番号	口座番号		
振込		お取引金額		
		¥126,570		
万円	五千円	二千円	千円	硬貨額
				手数料
				¥440
時刻	お取引後残高			
16:43	*****			
お受取人				
みずほ銀行				
東武支店				
当座 7725094				
ドウワ トツツ アーヌ (カ 様)				
ご依頼人				
モチツキ カヨコ 様				
振込予定日 07-06-02				



領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

望月香世子

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥ 20,860 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年5月29日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年5月29日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

スマート指定席  
博多  
FROM

❖ 静岡  
TO

列車名・券種  
利用区間

のぞみ24号  
博多  
FROM

❖ 名古屋  
TO

列車名・券種  
利用区間

ひかり510号  
名古屋  
FROM

❖ 静岡  
TO

西日本旅客鉄道株式会社  
West Japan Railway Company  
登録番号 T1120001059675



JR西日本

2-8-8-13

ご旅行代金明細書

東武トップツアーズ株式会社

静岡支店

電話050-9001-9697

望月先生

様

旅行先	2泊3日		参加人員	1名	作成日	令和7年5月26日
	五島福江原発視察		ホテル2泊	1名	支店長	[Redacted]
		船・車中泊	添乗員	0名	担当者	
旅行	種別	単価	個数	旅行費	摘要	
	費用	航空券代	28,000	1	28,000	静岡～福岡
航空券代		18,000	1	18,000	福岡～五島福江	
航空券代		18,000	1	18,000	五島福江～福岡	
貸切バス代		12,833	1	12,833	1日目 (154,000円/12名)	
貸切バス代		5,000	1	5,000	2日目 (70,000円/14名)	
有料道路		1,428	1	1,428	全日程 (20,000円/14名)	
タクシー代		1,071	1	1,071	2日目 (15,000円/14名)	
タクシー代		1,153	1	1,153	3日目 (15,000円/13名)	
宿泊代		15,700	1	15,700	1泊目 朝食無し	
宿泊代		16,500	1	16,500	2泊目 朝食付き	
視察料		100	1	100	九州エコタウンセンター	
視察料		8,785	1	8,785	海上視察 (123,000円/14名)	
費用				1	0	
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
			1	0		
諸経費	旅行傷害保険		1	0		
	乗務員費用			0		
	添乗員費用		0	0		
	企画料金		1	0		
合計				126,570	お1人様旅行費 ¥126,570	

## 県外調査概要書

令和7年5月29日

会派名・議員氏名 自民改革会議 望月香世子

目的	長崎県五島市の洋上風力発電事業の視察を実施し、本県の洋上風力の可能性について研究する。
年月日	令和7年5月27日～5月29日
場所	長崎県五島市 福岡県北九州市
内容	<p>1 行程</p> <p>5月27日 各地＝静岡空港＝福岡空港＝北九州エコタウン事業視察＝宿泊（福岡市内）</p> <p>5月28日 宿泊地＝福岡空港＝五島福江空港＝五島列島洋上風力発電視察＝宿泊（五島市内）</p> <p>5月29日 宿泊地＝五島福江空港＝福岡空港＝JR博多駅＝JR清水駅</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 上記2～3に関しては「静岡県原発調査研究議員連盟九州視察報告書（伊藤謙一議員提出【3-14-5-2】）」を参照。</p> <p>4 県政への反映 海に囲まれる日本において、浮体式洋上風力発電を実施する場合、物流港や漁港など港湾事業との兼ね合いも考え、場所の選定から始まることとなる。今回視察した長崎県五島市における発電設備は、8基で16,800wを発電する規模であったが、当初地元漁業関係者との調整に、発電機の下部に海洋生物の住処となる場を作り、漁業協調型浮体式洋上風力発電の確立に向けた実証が行われた。魚たちが集まり、協業する形が取れたことは、各関係者の努力の賜物と思われる。日本各地、また静岡県においてもこういった環境と経済産業の関係を十分研究し、持続可能なエネルギー施策に展開する必要がある。</p>

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。